

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Drawing		
○保護者評価実施期間	R8.1.15	～	R8.2.15
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	R8.1.15	～	R8.2.15
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	R8.2.28		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	不登校児への支援に心理職を配置し、専門的なプログラムを行っている	・不登校のお子さんへの自己認知支援プログラムの実施 ・保育所等訪問支援との併用利用のため、学校の先生と情報共有や今後の方針についての相談が細目にできている	日中の居場所としてだけでなく、社会に出ていくためのスキルを身に付けられるよう、本人の意向もしっかりすり合わせて計画に入れていけるよう、本人との面談にも力を入れていきたい
2	環境を整備し、個室完備・半個室・更衣室・スタジオなどを一新した	Drawing近くの建物を事務所とし、事務所機能を移動、またその建物内の一室をスタジオとし、ゆとりのある場所の使い方ができるようになっている	空間を生かした活動の充実を計れるよう、スタッフ同士が離れていても連携が取れる工夫の具体案を出して実際に実践へ活かしていく
3	様々な専門職が複数人いて、デイの活動内だけでも多職種連携がとれていること	3事業を一体的に行うことで、それぞれスタッフの強みをいかした配置をし、他事業に携わるスタッフへの相談がしやすい環境にある	専門ごとに内部研修の充実や、活動場面のシミュレーションの動画撮影をしてスタッフの育成に役立てていく

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物を移動して活動場所の充実を図っている	移動をする際、横断歩道を渡るリスクがある	交通ルールの学習・視覚支援を用いて移動ルートの確認・移動の練習を行い、安全に移動できるよう努めていく
2	ホームページなど情報発信が希薄になっている	支援スキルの向上をや支援の準備を優先にしているため、なかなか手が回らなくなっている	配置基準は満たしているが従業員数を増やし、ホームページなどの情報発信に限らず手数を増やしていきたい 内職ボランティアさんに制作の準備や製品化へ携わってもらえるよう少しずつ工夫をし始めている
3	きょうだい向けの支援の機会が少ない	今年度は家族支援や子育てサポートに力を入れてきて、家族やきょうだいで参加してもらいイベントを季節ごとに開催したが、まだきょうだい児向けを謳った行事の開催はできていない	きょうだい児のいる保護者さんへの聞き取りを行い、きょうだい児の参加しやすいイベントを打ち出して、まずは交流していくことを一歩としていく